

○2020年度 セイホスカラーシップ奨学生

氏名	出身国・地域	在籍大学・大学院	学部・研究科
ゴ エイカン WU YINGHAN	中国	大分大学	経済学部
オウ ハ WANG BO	中国	神戸大学	国際人間科学部
チョウ ムレイ ZHANG MENG	中国	上智大学	法学部
ジョン イソン JOUNG EUSUN	韓国	千葉大学	法政経学部
アハメド エムディー サイフ AHMED MD SAIF	バングラデシュ	立命館アジア 太平洋大学	国際経営学部
ヌル アザ ザハラ シルミ NUR AZ ZAHRA SILMI	インドネシア	立命館アジア 太平洋大学	国際経営学部
パン ジョウホワ PAN JUO-HUA	台湾	立命館大学	理工学部
クム スミン KEUM SOOMIN	韓国	早稲田大学	商学部

(敬称略)

○奨学生の声

- ・ コロナ禍により、母国からの送金がなくなり、アルバイトも月3日のみと大きく減少したが、奨学金のおかげで、厳しい環境の中でも生活費に支障をきたさずに、十分な勉強時間を確保することができ、前期において、今までで最も優秀な成績を収めることができた。
- ・ 奨学金によりアルバイトを減らすことができ、学業に集中できた。専攻外の書籍を読む時間が増えたとともに、金銭的な余裕も生まれたことでニュージーランドへの短期留学もでき、視野を広げることができた。
- ・ 留學生活の費用はすべて自分で賄う必要があり、週28時間をアルバイトに費やしていたが、奨学金によりアルバイトの時間を約半分に減らすことができた。その結果、成績も向上し、充実したキャンパスライフを送ることができている。コロナ禍により、一時アルバイトができず、稼ぎがない時期もあったが、奨学金により乗り越えることができた。
- ・ 2020年2月に自国へ一時帰国したところ、新型コロナウイルス感染症が蔓延し、現在も日本に再入国ができていない。日本に居ない間にも、家賃や光熱費等は支払い続ける必要があり、経済的に大変苦慮しているが、奨学金により生活費が賄えている。